

地域の施設充実度が子育て世帯の居住地選択に与える影響*

1240459 立花颯大

指導教員 矢内勇生

研究背景

地域の子供たちの遊び場や公共施設の減少が地域の問題となっている。現存する公園でもボール遊びが禁止されていたり、子供の遊び場は昔と比べて少なくなり、制限も多くなっている。この研究を通して地域の施設が子育て世帯に与える影響を明らかにしたい。

研究目的

子育て世帯が集まる地域に周囲の施設がどういった影響を与えているのかを明らかにする。

研究方法

重回帰分析を用いる。目的変数を市区町村別の子育て世帯数として地域の子育てに関わる施設を先行研究をもとにピックアップし、各施設が目的変数に与える影響を調査する。

分析結果

保育施設一つにつき子育て世帯は 340 世帯、小学校では 114 世帯、公園は 17 世帯、図書館は 355 世帯の増加の影響があることを示した。公民館と病院については影響は認められなかった。

結論

地域の保育施設、小学校、図書館、公園には子育て世帯数の増加と相関の関係を持つことを示唆した。

* 本研究は指導教員である矢内勇生先生と研究室のメンバーの協力、ご指導いただいた高知工科大学の先生方のご指導の下完成に至りました。ここに感謝の意を表します。ありがとうございました。